

テレビコネクターD TV Connector 取扱説明書



はじめに

このたびはフォナック製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。
テレビコネクターD（以下、本機と称す）はテレビや音楽機器に接続してSWORDチップ搭載のフォナック補聴器（以下、フォナック補聴器と称す）に直接送信することができる2.4GHzワイヤレステクノロジーを搭載したワイヤレスアクセサリです。
ご使用いただく前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
取扱説明書で不明な点がありましたら、本取扱説明書に記載されております「お客様相談窓口」までお問合せください。

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）

- お使いになる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管ください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や他人への危害、財産への損傷を未然に防ぐための内容を記載しておりますので、必ずお守りください。
- 次の表示区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損傷の程度を説明しています。

	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「損傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

	<p>危険</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本体および AC アダプタは絶対に分解、改造をしないでください。火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。 • 濡らさないでください。発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いに注意してください。 • 火のそばや、直射日光の強いところ、炎天下の車内など高温の場所に放置をしないでください。 • 小さな部品の誤飲防止のため、本体および付属品を3
--	--

歳未満の子どもの手の届くところに保管しないでください。万が一、誤って飲み込んでしまった場合は、ただちに医師にご相談ください。

警告

- AC アダプタのケーブルを無理に曲げたり、上に重いものをのせたりしないでください。ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。ケーブルが傷ついた場合は使用しないでください。

注意

- フォナック指定以外の AC アダプタは使用しないでください。発熱、発火するなどして、火災や事故の原因となります。
- 湿気の異常に多い場所や水分のかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- AC アダプタや接続ケーブルをコンセントやコネクタから抜くときはコネクタ部分を持って外してください。ケーブル部分を引っ張ると故障の原因となります。
- 次のような場合はただちに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。
 - 異常な状態から回復できないとき
 - 異臭や煙が出た、または異常音が発生したとき
 - 内部や隙間に金属片や水などの異物が入ったとき
 このような状態のまま使用すると、事故や火災の原因となります。
- 本製品はソノヴァ・ジャパンが指定するサービスセンターによってのみ修理可能です。
- 付属品はフォナック指定のものを使用してください。

2. 本体付属品

テレビコネクターD 本体



ヘッドホン端子用

3.5mm オーディオジャックケーブル



光デジタル音声出力用ケーブル



電源プラグ



USB-マイクロ USB ケーブル

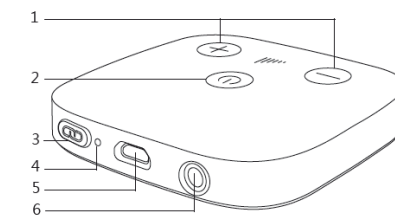


取扱説明書（本書）

保証書

固定用マジックテープ

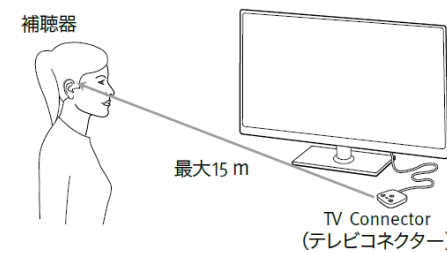
3. 各部の名称



- ①音量調節ボタン
- ②電源ボタン
- ③接続ボタン
- ④状態表示ライト（LED）
- ⑤マイクロ USB ソケット（電源）
- ⑥音声入力端子（デジタル/アナログ）

4. 使用イメージ

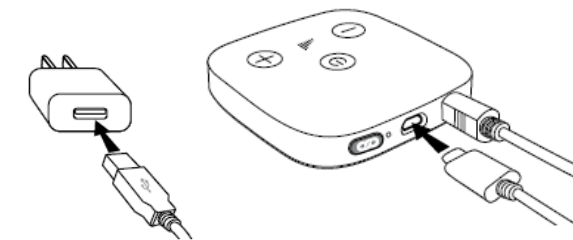
本機は、フォナック補聴器へテレビ等の音声を直接、伝送します。電波が届く範囲は見通し最大 15m です。（使用環境により異なります）



5. 使用準備

電源の接続

電源プラグに USB 端子を差し込みます。マイクロ USB ケーブルの小さい側の端子を本機のマイクロ USB ソケットに接続します。電源プラグを電源コンセントに差し込めば電源がオンになります。

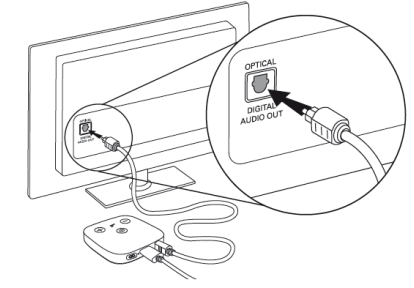


電源が ON になると、すぐに 1メートル以内に存在するフォナック補聴器と本機が接続されます。

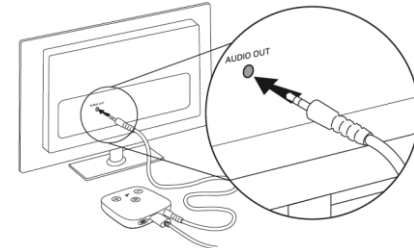
音声入出力の接続

ご利用になるテレビの出力端子の種類をお確かめの上、適切な接続方法をご使用ください。
デジタル出力とアナログ出力の両方が使用可能な場合は、音声の劣化が少ないデジタル端子をご使用ください。

デジタル出力の場合



アナログ出力の場合

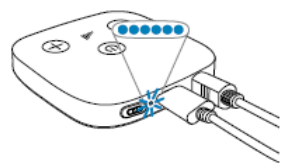
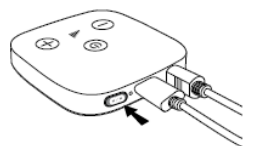


6. 補聴器の接続

本機の電源をはじめてオンにした時、自動的に近く（1m以内）にあるフォナック補聴器と接続されます。接続されたら、フォナック補聴器から接続の確認音が聞こえます。

別の新しいフォナック補聴器と本機を接続するには、以下の手順で行ってください。

- ① 裏面にある接続ボタン を状態表示ランプが青に点滅するまで長押ししてください。
- ② フォナック補聴器を電源オンにした状態で、本機から 1m以内の置きます。



<裏面に続きます>

- ③ 本機とフォナック補聴器の接続が完了すると、確認音が聞こえます。接続までに、約 10 秒程かかります。

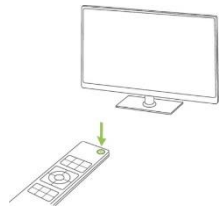


一旦接続されたフォナック補聴器は、次回以降、本機の通信範囲内に入るだけで、自動的に接続され、本機からの音声が聞こえます。

7. 日常的な使い方

本機は、モノラル音声もしくはステレオ音声を送信することができます。DTS 音声は本機に入力されている場合、状態表示ランプが赤く点灯してお知らせしますので、テレビ側の設定メニューで音声信号の種類をステレオ信号に切り替えてください。

本機を接続したテレビの電源をオンにします。



本機は、テレビからの音声信号を、接続した全てのフォナック補聴器に送信します。



テレビ等からの音声を受信するために、フォナック補聴器のプログラムスイッチを押す必要がある場合があります。



音声信号の入力がなくなると、本機はフォナック補聴器への音声の送信を自動的に中止します。本機はスタンバイモードになり、状態表示ランプが赤く点灯します。

フォナック補聴器が、本機の通信範囲外に移動すると、音声の送信は終了します。再度、通信範囲内に戻ると、自動的に送信が復帰して音声聞こえるようになります。

7.1 電源をオン/オフにする

本機の電源ボタンは、本体上部にあります。電源をオンにする：

- 電源ボタンを2秒間長押しします。
- 本体背面のLEDランプが点灯します。

電源をオフにする：

- 電源ボタンを2秒間長押しします。
- 本体背面のLEDランプが消灯します。

7.2 音量を調節する

本機から送信されている音声の音量を調節するには本機上部の音量調節 (+) 又は (-) ボタンを押します。

- 接続されている補聴器で確認音が鳴り、音量が変化したことがわかります。
- 本機の電源が入った状態で音声を送信している場合のみ調節できます。

7.3 テレビと環境音の音量バランスを調節する

2台の補聴器を装着している場合に、テレビの音量を調節するには：

- 右の補聴器のプログラムスイッチを押すと、テレビの音量が上がり、環境音の音量が下がります。
- 左の補聴器のプログラムスイッチを押すと、テレビの音量が下がり、環境音の音量が上がります。

	右	左
テレビ	上がる	下がる
補聴器	下がる	上がる

1台の補聴器を装着している場合に、テレビの音量を調節するには：

- ボタンを押すと、テレビの音量が上がり、環境音の音量が下がります。

補聴器の設定に関しては、補聴器を設定した販売店にお尋ねください。

7.4 本機と携帯電話

フォナック補聴器と携帯電話がBluetooth®接続している場合、本機からの音声を聞いていたとしても、電話に着信があれば受話することができます。

着信があると自動的に本機からの音声を中断し、着信を知らせる呼び出し音がフォナック補聴器から鳴ります。電話を終話すると自動的に切り替わり、本機からの音声聞こえてきます。

7.5 音声送信の終了

音声信号の送信を終了するには、テレビ等の電源を切るだけです。本機は自動的にスタンバイモードに切り替わります。

8. LEDランプ表示

LEDランプにて、本機の状態を知ることができます。

電源オン 音声送信中	点灯(緑)
電源オン スタンバイモード	点灯(白)
接続処理中	速い点滅(青)
誤った音声信号 (DTS)	点滅(赤)

9. トラブルシューティング

9.1 音声送信の確認

テレビなどからの音声聞こえない場合、以下の確認を行ってください。

- フォナック補聴器と本機との接続を確認してください。接続の方法はチャプター6をご参照ください。

- テレビ等のオーディオ機器と本機との接続を確認してください。
 - テレビ等のオーディオ機器の電源をオンにします。
 - ケーブルがオーディオ機器にも本機にも正確に接続されているか確認します。
 - オーディオ機器側は、出力端子に接続しているかを確認します。
 - 本機のLEDランプが、緑に点灯しているか確認します。

9.2 Q&A

テレビの電源が入っていてケーブルも接続しているのに音声が聞こえない

- ケース ■本機への音声入力がない。(LEDランプが赤で点灯もしくは点滅)
- 対応 ■光デジタルケーブルもしくは3.5mmオーディオケーブルが正確に接続されているか確認してください。
- テレビ等のオーディオ機器の出力端子にケーブルが接続されているか確認してください。
- (赤の点滅の場合)入力された音声信号が互換性のない信号形式(DTS)です。オーディオ機器側の設定メニューで出力音声の形式をステレオに変更してください。

状態表示ランプが緑であっても聞こえない

- ケース ■本機とフォナック補聴器が接続されていない。
- 対応 ■チャプター6の手順で、本機とフォナック補聴器を接続してください。

テレビ等からの音声が快適ではない(小さすぎる、大きすぎる)

- ケース ■機器によって出力される音声信号のレベルは異なります。
- 対応 ■光デジタルケーブルで本機に音入力している場合は、フォナック補聴器の音量を調節するか、環境音バランス機能を使用してください。あるいは、本体上部にある音量調節ボタンで本機の音量を調節します。

本機とテレビを接続したら、テレビのスピーカーからの音声が聞こえなくなった

- ケース ■テレビの設定にて、ヘッドセット音声出力が選択されている。
- 対応 ■テレビの設定メニューで同時にスピーカーも使用できるように変更してください。
- 3.5mmオーディオジャックの代わりに光デジタルケーブルを使ってテレビと本機を接続してください。接続はチャプター5を参照ください。

補聴器に直接送信されてきた音声とテレビのスピーカーから聞こえてくる音声に時間的に差がある

- ケース ■テレビのスピーカーの遅延設定が大きすぎる。
- 対応 ■テレビの設定メニューにて、テレビのスピーカーの遅延設定時間を短くなるように変更してください。

10. 保証期間とアフターサービス

- 本機の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。製品に同梱している保証書に「販売店名」「お買い上げ年月日」などが記載されていることを確認の上、大切に保管してください。
- お客様、または第三者による誤った使用、過失、故意または改造による故障の場合は有償修理となりますのでご了承ください。
- 保証期間内の修理の際には、保証書が必要となります。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

シンボルマークの説明



CE記号は、この機器が欧州連合の指令1999/5/ECの基本規定条項に適合していることを示しています。



この記号は、使用者が取扱説明書に書いてある内容を読み理解してもらうことが大事であることを示しています。



この記号は、通常と異なるごみ処理が要求される可能性があることを意味します。処分される際はお住まいの自治体が定める方法に従ってください。



技適マークは、この製品が電波法令で定められている技術基準に適合している無線機であることを表します。

使用/輸送/保管時の環境条件(温度/湿度)



製品の輸送・保管時の周囲温度は-20℃から60℃の間、使用時の周囲温度は0℃から40℃の間でなければなりません。



製品の輸送・保管時の環境は湿度90%以下、使用時の周囲温度は95%以下(いずれも結露しないこと)でなければなりません。



この記号は、製品の輸送、保管時に水濡れ厳禁であることを示しています。

製造販売業

ソノヴァ・ジャパン株式会社

〒140-0002

東京都品川区東品川2-5-8

天王洲パークサイドビル

TEL 0800-222-8310 (お客様相談窓口)

FAX 0120-23-4080

